



「障がい学生支援室」は、障害のある学生への授業支援や支援学生の養成を行い、障がい学生や支援学生の相談、またはボランティア活動などに関する相談を受けています。
この他に、教員や事務局の各課と連携し、障害理解や啓発活動に取り組んでいます。

★主な授業支援内容

ノートテイク（要約筆記）ビデオ字幕制作・ビデオ音声の文字起し・パソコンテイク・ゼミの手話通訳・レジュメの点訳・対面朗読など。

★各種講習会・・・ノートテイク・パソコンテイク・ビデオ字幕制作など。

★手話の会・・・週2回昼休み、簡単な手話で楽しみながら会話をし、コミュニケーションの輪を広げています。

★ノートテイク（要約筆記通訳者）とは

聴こえない学生の両脇に座り、耳の代わりとなって、授業の内容はもちろん、その場で聞こえている音のすべて（教室内の雑音・・・チャイムの音・携帯の着信音など）を交代で文字にして伝える筆記通訳のことです。ノートテイクとは「速く」「正しく」「読みやすく」書き伝える技術が必要とします。



問い合わせ先

京都精華大学 障がい学生支援室

連絡先：TEL 075-702-5268 FAX 075-702-5390 e-mail：chall@kyoto-seika.ac.jp